

★こちら「赤い羽根」から「人材育成」まで「助成金特集」！ **第24号-2-**

選ばれれば共同募金の仕組み活用して幅広い協力が得られる！ 赤い羽根「地域課題解決型募金・募集」は5月1日～28日

「赤い羽根」でおなじみ「福島県共同募金会」の「地域課題解決を応援する」新しい仕組みです

・私たちになじみの深い「赤い羽根」ですが「福島県共同募金会」が実施している「地域課題解決型募金」はご存知でしたか？ これは「地域課題を解決するべく立ち上がった団体」を「赤い羽根共同募金の仕組みを活用して寄付金を集めて応援する」プログラムです。地域の市民団体やNPOは、この仕組みを活用して自分たちの活動を広く訴えることができますし、市民としては「活動の趣旨に賛同した団体に、共同募金を通して直接寄付応援できる」こととなります。「赤い羽根」を通して、「地域課題を解決しようという団体」と、「これを応援しようという市民」を結び付けることで「自分の町をよくしよう」という仕組みになっています。この「地域課題解決型募金」の「平成30年度」事業に応募する「エントリー団体」の募集がよいよ、この5月1日から始まります。

応募するなら5月1日～28日の募集期間中に「応募用紙」と「事業計画書」を作成し郵送で

・「地域課題解決型募金・募集」にエントリーするには市民団体として次の「4つの要件」が必要です。

- ①課題解決の必要性を広く県民に訴え、共同募金の一環として募金の呼びかけができること。
- ②団体の運営が、自主性、非営利、公開を原則としていること。
- ③会則（運営要項、規約、定款）、事業報告書・決算書、事業計画書・予算書等が整備されていること。
- ④団体名義の金融機関預金口座を開設していること。

・その上で「福島県共同募金会」のHPから「応募用紙」と「事業計画書」をダウンロードして作成し「必要添付書類（会則や事業報告書、事業計画書等）」を添え「郵送」で申し込むことになります。

・対象事業の実施時期は「平成31年4月1日～平成32年3月31日」ですし、共同募金の募金活動期間は「平成31年1月1日～3月31日」と、どちらも来年になりますから留意してください。

・エントリーして選ばれれば、その団体に寄せられた寄付額はむろん全額配分されますが、ユニークなのは右の表のように「募金寄付額」ごとに「配分額」があり、参加団体のインセンティブになっていることです。

下の写真は昨年度の「地域課題解決型募金チラシ」！ 30年度の寄付受付期間は31年1月～3月になります！



・「赤い羽根」というと、歳末助け合いをすぐイメージしますが、全国の共同募金会では平成28年度から、1月～3月を募金活動期間とする新しい仕組みに取り組んできました。「福島県共同募金会」の取り組みはこの「地域課題解決型募金」でした。

・従来の募金と違う点は「エントリー団体」が主体的に活動し、寄付をする市民は、その中から共感する団体を選んで寄付をする点にあります。

1 子どもの居場所づくり

「居場所」が不足している子どもを支援し、活動の場を創出する。活動の場を創出する。活動の場を創出する。

2 「居・親」子育ての援助

子育て支援を必要とする子どもを支援し、活動の場を創出する。活動の場を創出する。活動の場を創出する。

3 地域の課題づくり

地域の課題を解決し、活動の場を創出する。活動の場を創出する。活動の場を創出する。

・上の写真は去年のチラシの表紙。中面には左のように、エントリーした団体（去年はNPO法人3団体）のプロフィールや事業内容が詳しく紹介されています。

・市民としてはこれをよく読んで、共感できる団体を選んで、寄付をすることになります。

・このチラシには「団体名」が入った「郵便振込票」も印刷されていますから、寄付募金をしたい市民は、団体を選んで、寄付の金額を記入し「ゆうちょ銀行」窓口で払込めば確実に寄付ができるのです。

| 「募金寄付額」と「配分額」 | |
|---------------|-----------------------------|
| 「募金寄付額」 | 「配分額」 |
| ～1万円未満の場合 | 実際に寄せられた募金寄付額を配分 |
| 1万円～5万円未満の場合 | 実際に寄せられた募金寄付額 プラス2万円を配分 |
| 5万円～40万円未満の場合 | 実際に寄せられた募金寄付額 ×150%を配分 |
| 40万円以上の場合 | 実際に寄せられた募金寄付額 プラス20万円を配分 |

「東北7県の活性化」と「岩手・宮城・福島3県の NPO 人材育成」東北に対象を絞った2つの助成事業募集情報をまとめてレポート!

地域産業振興、コミュニティ再生等を応援 東北電力「東北・新潟の活性化応援プログラム」 今年の応募締め切りは5月16日です!

・東北6県と新潟県の地域活性化を応援しているのが東北電力の「東北・新潟の活性化応援プログラム」です。東北7県に呼びかけ、応募のあった中から「各県1団体」を選び助成をしています。平成30年の募集は3月16日にすでに始まっており、5月16日が最終締め切りです。あまり時間がありませんから、応募を考える団体はお急ぎください。

・支援内容は「特別助成金(1団体)100万円」「助成金(6団体)30万円」が今年も予定されています(ちなみに平成29年福島県からは二本松市の「NPO法人がんばろう福島、農業者等の会」が助成団体の1つに選ばれています)。

・審査対象となる活動としてはテーマとして「地域産業振興」「地域コミュニティ再生・活性化」「交流人口の拡大」が挙げられています。詳しくは、東北電力HPから「申請書」をダウンロードしてご検討ください。なお「添付資料」として「会員名簿」や「年度決算書(収支報告書)」が「必須」となっていますので留意してください。

岩手・福島・宮城の NPO 人材育成を助成する 大和証券「フェニックスジャパン・プログラム 2018」今年の募集期間は6月4日～6月11日!

・2012年から始まったこのプログラムは「岩手・宮城・福島等で地域課題解決に取り組むNPO」が助成対象です。その上で具体的には「NPOの人材の雇用・育成を」「2018年10月～2019年9月」まで「1年間助成」してくれるプログラムとなっています。

・ただ助成対象が「人材育成」なだけに、応募団体には「原則、法人格を有すること」とした上で、人材育成に関する「目的」から始まって「対象者」「育成責任者」「育成体制」「育成方法」「外部研修」「視察」等、NPOとしての「育成計画」を具体的に作成した上で応募することが求められています。

・とはいえ、こうした事項を整え応募し「選考委員会」で選ばれれば助成が約束されるのです。助成金額と件数は「1件あたり500万円以内」「新規助成4～5件」と発表されています。ちなみに福島県では2015～2016年に「NPO法人みんなの広場」(伊達市)2017年には「NPO法人ビーンズ福島」が選ばれています。

・詳しくは「説明会」への参加がおすすめ。「福島開催」は「5月7日(月)13:30～15:00」「会場:郡山商工会議所 5-1 会議室」で行われます。詳しい資料の入手、説明会出席の申し込みは「日本NPOセンター」のHPにアクセスして手続きしてください。

すでに応募受付が始まっている「活性化応援プログラム」支援は「東北6県+新潟県」の各県1団体で合計7団体!

「審査対象のテーマ」は大きく3つ

◎地域産業振興◎地域コミュニティ再生・活性化◎交流人口拡大

ことしも「特別助成金100万円」が「1団体」に、「助成金30万円」が「6団体」に予定されています!

| 支援内容 | |
|------------------------------------|-------|
| 応募があった東北6県と新潟県から各県1団体計7団体を選定し以下を助成 | |
| 特別助成金(1団体) | 100万円 |
| 助成金(6団体) | 30万円 |

被災者の生活再建に取り組むNPOの人材育成を応援します

「支援センター」には、この号でレポートした「助成金情報」はもちろん、他の情報も到着しています。詳しくは024-583-2800までお問い合わせください。